



一人一人が 安心して 自分のよさを発揮できる学校

今成小だより



令和7年9月1日発行

「できた！」という喜びが味わえる体育授業

真夏の40日を経て元気な声が学校に戻ってきました。2学期の始まりです。体育館エアコンを活用できるようになった利点を生かし、暑い中での活動に心身を慣らさせながら、新たな目標に向かう子どもたちを応援していきたいと思います。

さて、今年度は「**体力の向上**」を重点の1つに挙げ、授業の充実を図っている所です。体育専科教員によると、1学期の授業で子どもたちのやる気に溢れた様子や「できた！」と喜ぶ姿が数多く見られたとのことでした。

《逆上がり》

3年生の逆上がりは鉄棒運動の基本となる大切な技です。専科教員は、事前の実態調査から戦略を練りました。自転車のゴムチューブや鉄棒回転サポーターを調達し、これらを使い逆さ感覚や足をけるタイミングなど段階的に体感させました。また、友達との教え合いも活性化し、休み時間に自主的に練習に来るなど子どもたちの意欲は向上しました。その結果、学習後には約65%の子どもたちが逆上がりを完全習得し、補助付きを含めるとめあてを達成した子は約9割となり、大変良好な状況となっています。

《Tボール》

高学年で取り組むTボールは止まっているボールをバットで打つ競技です。近年、男女ともにベースボール型の運動への関心が高くなっています。そこで今学期は従来型ティ（左）に加えてアップスイングがしやすい自作のティ（右）を用意しました。授業のねらいに応じて子どもたちは両方を体験し、思い切りボールを打って遠くに飛ばす感覚を味わうことができましたようです。

【子どもたちの感想より】

2つのティを使ってだんだん打てるようになりました。

バックスピнтиは当たりやすくなって、ボールが落ちないで飛ばすことができました。

ボールを打つときの足の広さを意識したり、ボールのところに合わせたりしてからふることを意識できました。

バックスピнтиの方がボールを遠くに飛ばすことができます。遠くに飛ばせるので気持ちがいいです。

この他にもチームで何名かがワープゾーンを走ってよいというルール of 《ワープリレー》、手にはめた軽いラケットでテニスのようにボールを打ち合う《テニピン》など、担当教員が新しい種目を紹介すると、臆せず夢中で挑戦します。何事にもひたむきに取り組むこの感じが今成小の子どもたちの最高の強みだと思っています。今月は運動会練習も始まり、子どもたちの「**体力の向上**」も一歩進むことでしょう。授業と行事とのバランスを取りながら「できた！」という喜びが味わえる体育授業を展開し、学校全体で運動好きな子どもたちの育成を進めてまいります。

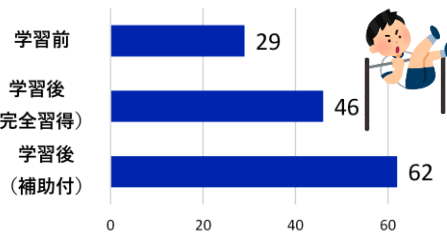
ほめて認めて、叱って諭し、また、ほめて伸ばす

体育専科教員による授業



1・2年生では子どもたちの発達段階に即した運動経験を授業の中で促進し、3年生以上では体育について専門性の高い教師陣による質の高い授業を実践し、子どもたちが喜んで体を動かし、運動技能を向上させるよう導きます。

さかあがりできた児童の数（3年生）



【子どもたちの感想より】

心の中で「1、2、ひざ」と言ったらできました。友達にほじょしてもらおうとできるようになって、友達もできるようになってうれしくなりました。初めてできたとき、別の世界が見れました。



従来型のティ バックスピнти